

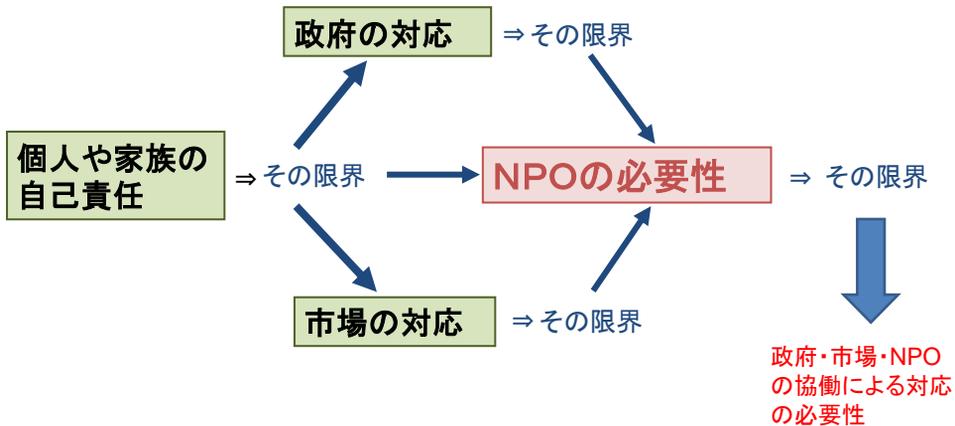
平成28年度 社会福祉振興助成事業シンポジウム  
NPOの社会的意義とソーシャルアクション  
ー民間福祉活動のイノベーションに向けてー  
2016.12.13

基調講演

## NPOの社会的意義と 地域社会における役割 ーその活動と連携のあり方ー

山岡 義典  
(公益財団法人 助成財団センター理事長)

### 1. NPOはなぜ必要か？ ー歴史的背景を踏まえてー



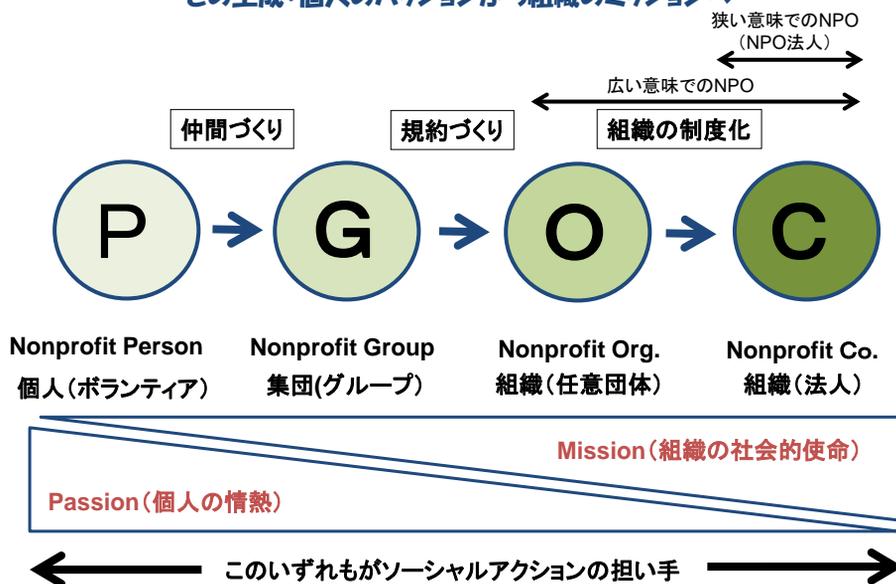
## 2. NPOの社会的な意義 —行政や企業との関係において—

- ① 先駆的に取り組む
  - ⇒ 営利を目的としないで公的に認知される以前のサービスを提供する
  - ⇒ 認知されれば制度的に保障された取り組みになる
- ② 多様な考え方で取り組む
  - ⇒ 受益者にとっては多くの選択肢のあるサービスが得られる
  - ⇒ 行政や企業のサービスと併存することで社会の豊かさが増す
- ③ 人間的な立場を大切にしてお取り組む
  - ⇒ 一人一人に対応した精神性の高いサービスが得られる
  - ⇒ 行政や企業で対応するには限界がある
- ④ 第三者の眼で行政や企業を批判的にみつめて提言する
  - ⇒ 行政や企業のあり方に変革をもたらす

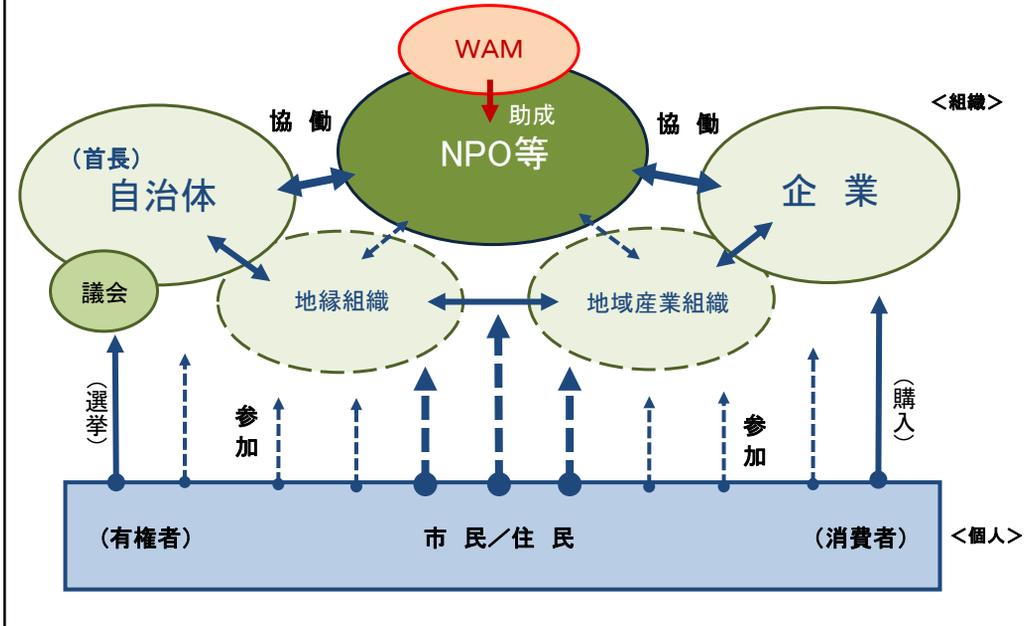
以上を通じて、  
社会的な課題の解決や新しい社会づくりに向けて役割を果たす  
⇒ 社会変革の担い手になる

## 3. NPOの成り立ち

—その生成: 個人の Passion から組織の Mission へ—

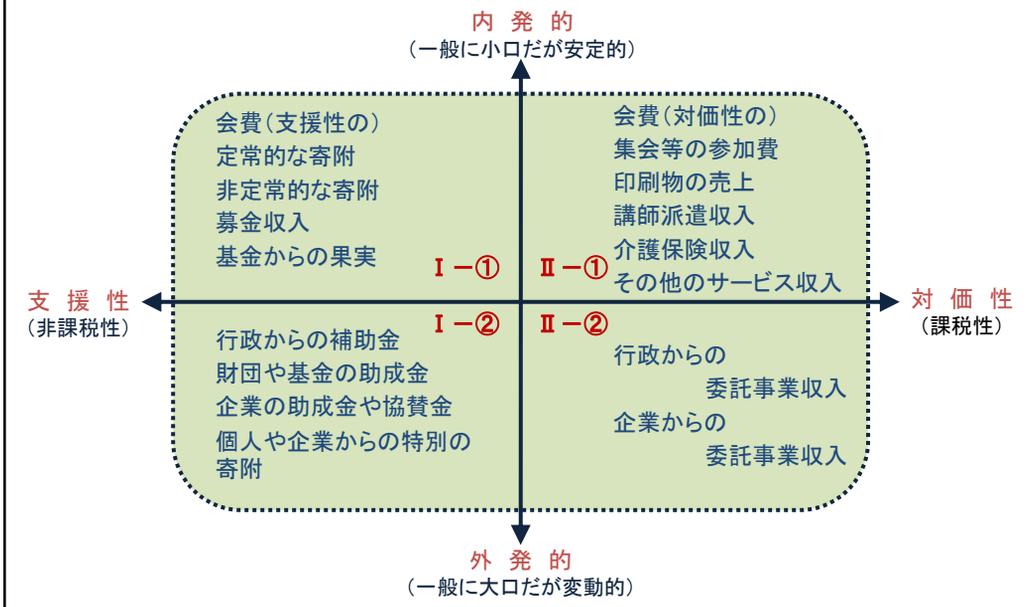


## 4. 地域における連携(参加・協働)の構図

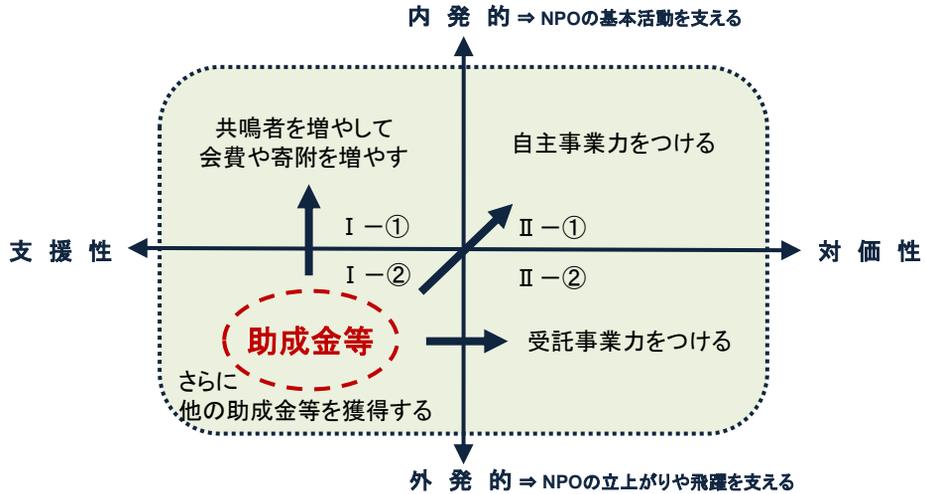


## 5 NPOを支える財源の構成

—財政面から組織基盤を考える—



## 6 助成金を組織基盤の強化にどう活かすか？



・助成金は I-②の財源

⇒その財源で、どう効果的な活動を展開し、組織の基盤を固めるか

⇒その成果を、I-①、II-①、II-②の財源の拡充にどう活かすか

ご清聴、  
ありがとうございました。